

令和7年度当初予算

主要事項の概要

農林水産部

農林水産部 令和7年度当初予算総括表

1 一般会計

単位:千円

款名	項名	令和7年度 当初予算額 A	令和6年度 当初予算額 B	増減額 A-B	率 A/B	令和7年度の財源内訳				(参考)	
						国支出金	地方債	その他	一般財源	令和6年度 国補正関連 C	率 (A+C)/B
農林水産業費	農林水産業企画費	10,130,678	9,838,258	292,420	103.0%	2,916,993	836,800	2,049,197	4,327,688	720,111	110.3%
	農業費	12,340,064	11,729,257	610,807	105.2%	5,553,247	1,435,900	82,165	5,268,752	4,393,628	142.7%
	畜産業費	2,446,469	1,903,990	542,479	128.5%	523,628	863,300	24,343	1,035,198	1,412,750	202.7%
	農地費	14,659,365	14,257,176	402,189	102.8%	5,045,067	6,634,500	1,754,236	1,225,562	5,620,818	142.2%
	林業費	12,932,459	13,655,869	△723,410	94.7%	3,053,460	4,446,700	1,985,552	3,446,747	2,091,087	110.0%
	水産業費	6,503,232	6,652,554	△149,322	97.8%	2,487,447	2,245,600	50,608	1,719,577	661,400	107.7%
災害復旧費	農林水産施設災害復旧費	8,774,041	6,316,394	2,457,647	138.9%	8,147,610	506,000	110,702	9,729	0	138.9%
計		67,786,308	64,353,498	3,432,810	105.3%	27,727,452	16,968,800	6,056,803	17,033,253	14,899,794	128.5%

2 特別会計

単位:千円

会計名	令和7年度 当初予算額 A	令和6年度 当初予算額 B	増減額 A-B	率 A/B	令和7年度の財源内訳				備考
					国支出金	地方債	その他	一般財源	
就農支援資金貸付事業特別会計	17,499	29,041	△11,542	60.3%	0	0	17,499	0	
県営林造成事業特別会計	308,854	314,595	△5,741	98.2%	3,000	0	305,854	0	
林業改善資金助成事業特別会計	33,623	89,148	△55,525	37.7%	0	0	33,623	0	
沿岸漁業改善資金助成事業特別会計	98,416	61,045	37,371	161.2%	0	0	98,416	0	
計	458,392	493,829	△35,437	92.8%	3,000	0	455,392	0	

農林水産部予算の内訳

1 農林水産部予算

単位：千円

区 分	令和7年度 当初予算額 A <small>(上段()書の金額は R7当初+R6国補正等関連)</small>	令和6年度 当初予算額 B <small>(上段()書の金額は R6当初+R5国補正等関連)</small>	率 A/B
人 件 費	9,318,563	9,245,432	100.8%
公 共 事 業 費	(30,083,715) 22,274,215	(29,947,868) 22,996,867	(100.5%) 96.9%
補助公共事業	(25,713,711) 17,904,211	(25,554,290) 18,603,289	(100.6%) 96.2%
県単公共事業	4,370,004	4,393,578	99.5%
災 害 復 旧 費	8,774,041	6,316,394	138.9%
直 轄 負 担 金	(1,328,035) 1,238,817	(1,404,444) 1,385,776	(94.6%) 89.4%
非 公 共 事 業 費	(33,181,748) 26,180,672	(29,652,689) 24,409,029	(111.9%) 107.3%
計	(82,686,102) 67,786,308	(76,566,827) 64,353,498	(108.0%) 105.3%

2 農林水産部公共事業

単位：千円

事業区分	令和7年度 当初予算額 A <small>(上段()書の金額は R7当初+R6国補正等関連)</small>	令和6年度 当初予算額 B <small>(上段()書の金額は R6当初+R5国補正等関連)</small>	率 A/B
補 助 公 共 事 業	(25,713,711) 17,904,211	(25,554,290) 18,603,289	(100.6%) 96.2%
農 地 関 係 (農業農村整備事業)	(14,718,927) 9,187,327	(13,603,490) 8,757,489	(108.2%) 104.9%
林 業 関 係 (造林・林道・治山事業)	(6,720,715) 5,104,215	(7,363,282) 5,880,782	(91.3%) 86.8%
水 産 関 係 (漁場・漁港整備事業)	(4,274,069) 3,612,669	(4,587,518) 3,965,018	(93.2%) 91.1%
県 単 公 共 事 業	4,370,004	4,393,578	99.5%
農 地 関 係 (農業農村整備事業)	2,692,374	2,697,249	99.8%
林 業 関 係 (造林・林道・治山事業)	1,351,194	1,379,448	98.0%
水 産 関 係 (漁場・漁港整備事業)	326,436	316,881	103.0%

(公共事業担当課：農山漁村振興課、農村森林整備課、林業振興課、水産振興課)

園芸産地競争力強化対策

◎活力ある高収益型園芸産地育成事業費

1 事業内容

園芸産地の競争力を強化するため、各地域が重点的に振興する品目の施設整備や長寿命化対策等に係る経費を助成

2 事業実施主体 営農集団、認定農業者、農協等

3 補助率 1/2又は1/3以内

4 予算額 1,453,500千円（前年度1,453,500千円）

- 園芸農業DX推進事業 [2月補正:93,950千円]
デジタルデータを活用したスマート農業機械等の導入を支援
- 産地生産基盤パワーアップ事業 [2月補正:869,924千円]
産地の収益力向上に必要な低コスト耐候性ハウス等の導入を支援

《担当課：園芸振興課》

◎園芸品目生産拡大・ブランド力強化費

1 事業目的

全国有数の生産額を誇る本県園芸品目の生産力・ブランド力を更に高め、生産者の所得向上を図る。

2 事業内容

(1) **新**「あまおう」競争力集中強化 106,526千円

- ① 収穫量を増加させる「環境保全型イチゴ増収技術」を開発
- ② 各産地の「あまおう」を集約して空輸する輸送体制を構築
- ③ 高品質な「あまおう」の栽培技術を確立し、糖度基準を設けたプレミアム商品規格を新設
- ④ 有名パティシエ等と連携し、プロモーションやフェアを実施
- ⑤ 苗の流出防止のための研修会等を実施



▲「あまおう」高設栽培

- 「あまおう」生産力強化集中支援事業 [2月補正:150,300千円]
規模拡大に取り組むあまおう生産者の高設栽培施設の整備を支援

(2) **新** 世界に打って出る八女茶の生産販売強化 99,745千円

- ① オーガニック認証取得の省力化を図るための支援システムを開発
- ② 「八女抹茶」ブランドの確立
 - ア 煎茶から碾茶への生産転換に必要な被覆資材の導入経費を助成
 - イ 首都圏・県内のカフェで「八女抹茶」のプロモーションを実施
- ③ 「福岡の八女茶」の輸出促進
 - ・米国及び英国を対象に、バイヤーの産地招聘や現地的高级レストランでフェアを実施



▲碾茶の栽培風景

- オーガニック八女茶生産推進事業 [2月補正:12,512千円]
八女茶生産者のオーガニック茶栽培への転換に必要な費用を支援

(3) **新** 「福岡の八女茶」新品種の開発 10,472千円

- ・うま味や鮮緑色を持ち、高単価が期待できる茶独自品種を開発

(4) **新** ワンコインではじめよう！花ある暮らしを推進 9,151千円

- ① 花の購入機会が少ない若い世代をターゲットにした花束「ワンコインブーケ」の販売イベントを実施
- ② インフルエンサーを活用した「ワンコインブーケ」のPRを実施



▲ワンコインブーケ

- 3 事業実施主体 (1) (2)① ②イ (3) (4) 県
(2) ②ア 農業者 ③ 福岡県産品輸出促進協議会
- 4 補助率 (2) ②ア 1/2
- 5 事業実施期間 (1) (2)② ③ (4) 令和7～9年度
(2)① 令和7～11年度 (3) 令和7～13年度
- 6 予算額 225,894千円（新規）

《担当課：園芸振興課、農林水産政策課、福岡の食の販売促進課、輸出促進課》

水田農業経営力強化対策

1 事業目的

本県水田農業の経営力を更に高めるため、米・麦・大豆の生産強化を進めるとともに、生産コストの低減、担い手への農地集積・集約化を支援する。

2 事業内容

(1) 県産米・麦・大豆の生産強化

① **新** 県産米の新品種開発と理解醸成

13,699 千円

- ア 高温といもち病に強い米の新品種を開発するため、高品質な米を安定的に供給できる、ごくわせ極早生品種を選抜
- イ 農家のおいしい米づくりや、米の栄養価を紹介するCM放映の取組を支援



▲福岡県産のブランド米

② 種子の安定供給体制の整備

53,500 千円

- ア 大豆新品種「ふくよかまる」の高品質種子の安定供給に向け、AIを活用した種子選別機械の導入経費を助成
- イ 米麦の種子生産の担い手に対し、種子専用乾燥機の導入経費を助成

③ 米粉や酒米の生産支援

4,154 千円

- ・米粉用米を新たに作付する担い手に対し、作付に必要な経費を助成

○ 酒米生産支援事業 [2月補正:93,278千円]

県内の酒米生産を維持するため、酒米の仕入れに必要な経費を助成

④ 担い手の生産性向上支援

144,953 千円

- ・農作業の集約化、生産コストの低減及び麦・大豆の面積拡大に取り組む担い手に対し、高性能機械導入・改修経費を助成

○ 農業共同利用施設機能強化促進事業 [2月補正:2,179,188千円]

農業共同利用施設の高機能化や統合に要する経費を助成

○ 水田農業DX推進事業 [2月補正:494,696千円]

経営規模拡大等に取り組む担い手に対し、スマート農業機械の導入経費を助成

(2) 担い手への農地集積・集約化支援

754,471 千円

- ア 農地中間管理機構が農地集積に取り組むための事業費等を助成
- イ 農地中間管理機構が担い手への農地集積を行う上で必要となる農地の再生費を助成
- ウ けいはん畦畔除去や機械進入路の整備など、農地の区画拡大に係る経費を助成



▲畦畔（けいはん）除去による区画拡大

3 事業実施主体

- (1) ① ア 県 イ JA全農ふくれん ② ア JA イ 種子生産者
- ③ 新規米粉用米生産者、県酒造組合
- ④ 認定農業者、集落営農組織、JA等
- (2) ア イ 農地中間管理機構 ウ 認定農業者、集落営農組織等

4 補助率

- (1) ① イ 1/2 以内 ② ア 3/4 以内 イ 1/2 以内 ③ 定額、1/2 以内
- ④ 1/3 以内、6/10 以内 (2) 定額

5 事業実施期間

- (1) ① ア 令和7～9年度 イ 令和7年度 ② ア 令和6～7年度
- ② イ 令和5～7年度 ③ 令和5～8年度、令和6～9年度
- ④ 令和4～8年度、令和6～7年度
- (2) ア イ 平成26年度～ ウ 令和3～9年度

6 予算額 () は前年度予算額

970,777 千円 (844,104 千円)、2月補正:2,767,162 千円

《担当課：水田農業振興課、農林水産政策課、福岡の食販売促進課》

畜産競争力強化対策

1 事業目的

飼料価格の高止まりや子牛価格の下落など、畜産経営を取り巻く情勢が厳しい中、本県畜産業の競争力強化を図るため、経営基盤の強化に取り組むとともに、「博多和牛」の生産・販売の強化に向けた取組等を推進する。

2 事業内容

(1) 畜産経営の基盤強化

19,591 千円

① 生産拡大・収益性向上対策

- ・生産規模の拡大に必要な施設・機械の整備経費を助成

② ゲノミック評価の導入支援

- ・乳用牛の能力を早期に評価するためのDNA解析経費を助成

③ 乳用牛の改良支援

- ・DNA解析による遺伝的に優れた乳用牛の受精卵を使用し、高能力な乳用牛を生産するための採卵・移植等に係る経費を助成

(2) 「博多和牛」の生産・販売強化

52,883 千円

① 生産強化対策

- ア 肥育農家に対し、出荷頭数の拡大に必要な肥育もと牛の導入や遊休畜舎施設・機械の整備経費を助成
- イ 繁殖農家に対し、規模拡大に必要な畜舎や省力化機械の整備経費を助成

② **新** 20周年を迎える「博多和牛」の販売強化対策

- ・博多和牛の取扱店における販売コーナーの強化や、車両や車内の広告面を独占する“トレインジャック”など、消費拡大に向けた取組を支援



▲20周年を迎える博多和牛

③ **新** 全国和牛能力共進会に向けた肉質向上対策

- ・「博多和牛」の更なる肉質向上を図るため、肉質に係る検査や解析の結果を活用した現地指導を実施



▲前回共進会に出品した博多和牛

(3) **新** ハラル認証県産和牛の販売体制の確立

5,338千円

- ・インバウンド需要やイスラム圏への輸出の高まりを捉え、市場・販路調査を実施するとともに、ハラル認証県産和牛の流通業者に対して試食会を開催

3 事業実施主体

- (1) ①認定農業者、営農集団、農協等 ② ③ 農協
- (2) ①認定農業者、営農集団、農協等 ②生産者団体 ③県
- (3) 県

4 補助率

- (1) ① 1/2 又は 1/3 以内 ② 定額 ③ 定額又は 1/2 以内
- (2) ① ア 定額又は 1/2 以内 ① イ ② 1/2 以内

5 事業実施期間

- (1) ① 令和 2～7 年度 ② 平成 29～令和 7 年度 ③ 令和 5～7 年度
- (2) ① ア 平成 29～令和 7 年度 ① イ 令和 6～9 年度
- (2) ② ③ 令和 7～9 年度 (3) 令和 7～8 年度

6 予算額 () は前年度予算額

77,812 千円 (70,487 千円)

《担当課：畜産課》

農林水産業の次代を担う「人財」の育成

1 事業目的

新規就業者の確保・育成に加えて、持続的な農業生産を担う「企業型経営体」を育成するとともに、農業DXや女性農業者の活躍、農福連携を推進する。

2 事業内容

(1) 新規就業者の支援

1,546,401千円

① 農業関係

- ・就農前後の所得を確保するために必要な資金を交付
- ・就農開始に必要な機械・施設等の導入経費を助成

② 林業関係

- ・林業新規就業者への技術指導に要する経費を助成（国直採）

③ 漁業関係

- ・漁船漁業の独立前の長期研修や独立直後に必要な資金を支援（国直採）
- ・法人経営の個別相談会の開催や専門家の派遣で、ノリ養殖経営体の法人化を支援

(2) **新** 強い農業構造の確立を推進

156,921千円

ア 持続的な農業生産を担う「企業型経営体」を育成するため、経営判断能力を高める研修を実施

イ 上記の研修を受講する経営者を対象に、規模拡大や生産性向上に必要な機械・施設の導入経費を助成



▲機械導入で規模拡大に対応

(3) 農業DXの推進

27,892千円

ア 現地実証を通じ、メーカーと連携してスマート農業のシステムを改善

イ 農業大学校において、クラウドシステムを活用した農業DX教育を実施

ウ **新** スマート農業機械から収集したデータを収集・分析し、産地全体の更なる収益向上につなげる「農業DX専門人材」を育成

(4) **新** 未来を担う女性農業者の活躍推進

2,998千円

ア 主に単純作業を行っている女性農業者が主体的に能力を発揮できるよう、基礎的な農業技術を学ぶ研修や機械実習を実施

イ 女性農業者のリーダーを育成するため、農業委員を引き受けている女性農業者等から実例を学ぶ「リーダー育成研修」を実施

ウ 主に男性農業者を対象に、固定的な性別役割分担意識の解消を目的とした「農業・農村マインドチェンジ研修」を実施



▲みかんを摘果する女性農業者

(5) **新** 農業分野における障がい者の直接雇用を推進

19,140千円

ア 障がいのある方の収入向上に向け、農業経営体が直接雇用し、課題の確認を行う実証試験を実施

イ 障がいのある方が作業しやすい作業環境改善等に要する経費を助成

3 事業実施主体

- (1) ① 県、市町村、農協等 ② 森林組合等 ③ 漁連、漁協
(2) ア 県 イ 農業経営体 (3) 県
(4) 県 (5) ア 県 イ 農業経営体

4 補助率

- (1) ① 定額、3/4以内、1/2以内 ② 定額 ③ 定額
(2) イ 1/2以内 (5) イ 1/2以内

5 事業実施期間

平成24～令和9年度

6 予算額 () は前年度予算額

1,753,352千円 (1,508,921千円)

《担当課：経営技術支援課、後継人材育成室、林業振興課、水産振興課》

県産農林水産物の販売・消費対策

1 事業目的

県産農林水産物と日本酒などの加工品を「福岡の食」として、外食事業者等への一体的な売り込みを強化するとともに、攻めの輸出拡大を展開し、県産農林水産物の販売・消費の促進を図る。

2 事業内容

(1) 「福岡の食」の販売・消費促進

75,150 千円

① 外食事業者への販売強化

- ア 外食事業者等に対し、県産農林水産物及び酒などの加工品の一体的な販売促進を実施
- イ 卸事業者と連携し、その取引先である外食事業者などへ県産食材の売り込みを展開



▲県産食材の魅力をPR

② **新**「食の王国福岡」の魅力発信

- ア 世界的なグルメ情報サイト「ラ・リスト」が東京(10月)とパリ(11月)で開催するイベントにおいて、ブースを出展し県産食材をPR
- イ 本県の豊かな食材や酒の魅力を踏まえたガストロノミーツーリズム(※)を推進するため、食と酒のマリアージュに関するセミナーを実施



▲福岡県の豊かな食と酒のマリアージュ

③ 県産酒の認知度向上

13,790千円

- ア 県産酒を一堂に集めた「&SAKE FUKUOKA」の開催を支援
- イ 県産酒の品質向上を図るため、更なる技術研鑽や品評会への出品に要する経費を支援

(2) 県産農林水産物の輸出促進

28,244千円

① バンコク都友好交流を通じたタイへの輸出強化

- ・飲食店関係者等へのPR試食会を実施するとともに、量販店及び飲食店での販売促進フェアを開催



▲タイでの販売促進フェア

② 行政・産地と連携した輸出先国のファンづくり

- ・シンガポールのバイヤーやインフルエンサーを、輸出に意欲的な産地へ招へいし、自慢の農林水産物と観光資源の魅力を情報発信するとともに、現地飲食店におけるフェアを開催

③ みかんの輸出促進

- ・他県に先んじて輸出を開始している米国、ベトナム等において、量販店での販売促進フェアを実施

3 事業実施主体

- (1) ①、② 県 ③ &SAKE FUKUOKA実行委員会、福岡県酒造組合
- (2) ① 県、福岡県産品輸出促進協議会
- (2) ②、③ 福岡県産品輸出促進協議会

4 補助率

- (1) ③ア 定額 イ 1/2以内

5 事業実施期間

- (1) ① ア 平成29年度～ イ 令和5～7年度
- ② 令和7年度 ③ ア 平成30年度～ イ 令和3年度～
- (2) ① 令和6～8年度、② ③ 令和5～7年度

6 予算額 () は前年度予算額

117,184 千円 (119,219 千円)

《担当課：福岡の食販売促進課、輸出促進課》

(※) ガストロノミーツーリズム … 気候風土が生んだ食材・習慣・歴史によって育まれた食を楽しみ、食文化に触れることを目的としたツーリズム

ワンヘルスの推進

1 事業目的

農林水産業におけるワンヘルスを推進するため、ワンヘルスの理念に沿って生産された認証農林水産物の普及を進めるとともに、ワンヘルスの森や動物保健衛生所の整備、食育・地産地消に取り組む。

2 事業内容

(1) ワンヘルス認証農林水産物の普及促進

66,858千円

① 認証制度の取組

- ア 認証経営体数を拡大するため、生産者向けの説明会を実施
- イ インターネットを通じた認証申請や認証農林水産物の検索が可能な専用サイトを運営

② 認証農林水産物の販売拡大

- ア 県内民放テレビでのCM放映やウェブ広告等により、消費者へ幅広くPR
- イ 県内大手量販店で販促フェアを開催するとともに、常設販売コーナーを設置
- ウ 地産地消応援の店と連携し、認証農林水産物をメニューに使用したフェアを開催



▲大手量販店での販促フェア

(2) ワンヘルスの森の取組

57,403千円

- ア 「ワンヘルスの森 四王寺」の施設・設備の整備に関する基本計画を策定
- イ 多くの来訪者が快適に利用できるトイレを整備
- ウ ワンヘルスの説明や森を案内できるガイドを派遣し、森林浴の体験ツアーを実施



▲ワンヘルスガイドの説明が受けられる森林浴の体験ツアー

(3) 動物保健衛生所の整備

756,138千円

- ア 老朽化した筑後家畜保健衛生所をみやま市に移転し、家畜・野生動物・愛玩動物の保健衛生に一元的に取り組む動物保健衛生所の建築工事を実施
- イ 獣医師職員のスキルアップのために獣医系大学へ派遣



▲動物保健衛生所イメージ図

(4) 食育・地産地消の推進

34,071千円

① 「いただきます！福岡のおいしい幸せ」県民運動の展開

- ア ふくおか農林漁業応援団の登録を推進
- イ 応援ファミリーを対象とした「農林漁業体験ツアー」を実施
- ウ 市町村・団体が行う食育イベント等の開催を支援

② 社食を活用した地産地消の推進

- ・県産農林水産物を使用した社食メニューの開発を支援



▲糸島産豚ロースときのこの赤ワイン煮込み(西部ガス社員食堂)

3 事業実施主体 県

4 事業実施期間

- (1) ① 令和4～7年度 (1) ② (2) 令和5～7年度
- (3) 令和3～7年度 (4) ① 平成26～令和7年度 ② 令和6～8年度

5 予算額 ()は前年度予算額

914,470千円 (300,917千円)

《担当課：食の安全・地産地消課、林業振興課、畜産課》

林業振興対策

1 事業目的

県産木材の供給力強化に向け、「ICT高性能林業機械」の活用による収益向上効果の検証等を実施するとともに、県産木材の需要拡大、特用林産物の生産基盤の強化を進め、稼げる林業の実現を図る。

2 事業内容

(1) **新** 稼げる林業をつくる！収益力向上対策

10,641 千円

- ア 市場価格に基づき、収益が最大となるよう自動で採材を行う「ICT高性能林業機械」の収益向上効果の検証を実施
- イ 成長に優れた特定苗木の親木と認定するためのDNA解析を実施



▲ICT高性能林業機械

(2) 主伐・再造林の推進

81,035 千円

- ア 森林組合等が行う主伐及び少花粉苗木の植栽に要する経費を助成
- イ 効果的に植栽作業を行う人材を育成するため、林業用ドローンの高度な操作技術を習得できる実践的な研修を実施

(3) CLTへの県産木材の利用拡大

20,301 千円

- ア 県産木材を利用したCLTの運搬方法と規格の見直しによる流通経費の低コスト化を実証
- イ ビル建築を検討する民間事業者を対象に、CLT導入のメリット等を伝えるフォーラムを開催



▲CLT（直交集成板）を使用した建築物

(4) **新** 竹をメンマに！たけのこ産地の振興

7,683 千円

- ① メンマ製造者が、たけのこ生産者と連携し、竹林整備の新たな担い手として伐竹を行う体制づくりを支援

ア たけのこ生産者とメンマ製造者のマッチング
イ 竹の採取等に必要な機械等の導入経費を助成

- ② 県産メンマの販路拡大に向けた商談会の出展経費を助成



▲県産メンマを使用した料理

3 事業実施主体

- (1) 県
- (2) ア 協議会、林業経営者等 イ 県
- (3) 県
- (4) ①ア 県 ①イ 県内メンマ製造者 ② 協議会

4 補助率

- (2) ア 主伐：定額（500 円/m³）
植栽：定額（100 千円/ha）、15%以内
- (4) ①イ ② 1/2 以内

5 事業実施期間

- (1) 令和 7～9 年度
- (2) ア 平成 26～令和 7 年度 イ 令和 6～8 年度
- (3) 令和 6～8 年度
- (4) 令和 7～9 年度

6 予算額 () は前年度予算額

119,660 千円 (106,335 千円)

《担当課：林業振興課》

水産振興対策

1 事業目的

環境変化に対応した漁業やノリ養殖の強い生産構造を確立するとともに、ブルーカーボンや県産水産物の取引拡大を推進し、本県水産業の更なる振興を図る。

2 事業内容

(1) 新 環境変化に対応した漁業の推進

17,893 千円

① 豊前海におけるスマート漁業の導入

- ・酸素濃度が低下し漁獲量が減少する「貧酸素水塊」の発生を予測するシステムを、九州大学と連携して開発



▲水温と塩分の観測データを九州大学に提供

② 成熟抑制技術を活用したアユ資源の増大

- ・海水温が上昇する中、アユ資源の増大を図るため、水温が下がる時期に産卵となるよう、照度管理により成熟抑制した親アユの生産・放流技術を確立



▲産卵時期に放流したアユ

(2) 藻場の再生によるブルーカーボンの推進

25,633 千円

① 筑前海における藻場保全活動の推進

- ア 漁業者によるウニ除去などの藻場保全活動を支援
- イ 除去したウニを、地元産菜等を餌として養殖する取組を支援



▲養殖ウニの試験販売

② クレジット化に向けた技術開発

- ・九州大学と連携し、ドローン撮影画像を解析して藻場のCO₂固定量を算出する技術を開発

(3) 県産水産物の取引拡大を推進

19,512 千円

① 新 応援の店と進める「ふくおかの魚」の取引拡大を推進

ア インバウンド客に向けて、県産水産物とともに、日本文化も楽しめるフェアを開催

イ 豊築・有明地域の観光客に向けて、特産水産物（ハモ・福岡有明のり）を使用したフェアを開催



◀新たなロゴマーク

福岡有明のり
Fukuoka Ariake Nori

② 「福岡有明のり」の販売強化

- ・有明海漁連と民間事業者が連携した商品開発や共同販売会、PR広告等の取組を支援

(4) ノリ養殖の強い生産構造を確立

8,881 千円

ア 収穫作業が省力化できる高性能漁船に適した小間の配置を検証

イ 有明海の海況やノリの生育情報などを海況情報提供システムで提供

ウ 法人化を目指す経営体へのアドバイザー派遣や相談会に係る経費を助成

3 事業実施主体

(1) 県 (2) ① 漁業団体等 ② 県 (3) ① 県 ② 県、有明海漁連

(4) ア、イ 県 ウ 有明海漁連

4 補助率

(2) ① ア 2/10 以内 イ 1/2 以内 (3) ② 1/2 以内 (4) ウ 定額

5 事業実施期間

(1) 令和 7～9 年度

(2) ① ア 平成 25～令和 9 年度 イ 令和 6～8 年度 ② 令和 6～8 年度

(3) ① 令和 7～9 年度 ② 令和 6～8 年度

(4) ア 令和 6～8 年度 イ 令和 5～7 年度 ウ 令和 4～7 年度

6 予算額 () は前年度予算額

71,919 千円 (47,975 千円)

《担当課：漁業管理課、水産振興課》

総合的な鳥獣被害対策

1 事業目的

集落や農地への有害鳥獣の侵入防止対策、捕獲対策及び獣肉有効活用対策を総合的に実施する。

2 事業内容

(1) 侵入防止対策

478,304千円

- ア 被害が発生している農地等を対象に侵入防止柵の整備経費を助成
- イ 追い払い等の地域ぐるみの被害防止活動を支援
- ウ 人と野生動物との棲み分けを図るため、不要木を伐採した緩衝地帯の整備等を支援

(2) 捕獲対策

451,959千円

- ア 野生鳥獣の行動域を見える化するシステムと連携可能なICT機能付きわなの導入を支援
- イ 捕獲従事者を養成するため、狩猟免許取得者を対象とした集合研修に加え、マンツーマン研修を実施
- ウ 捕獲機材の導入、捕獲活動に係る経費を助成

(3) 獣肉有効活用対策

38,134千円

- ア **新** 未活用の捕獲獣を県域で収集し、ペットフード原料として有効活用するため、収集・加工する体制の整備に係る経費を助成
- イ 「ふくおかジビエの店」認定店と連携した消費拡大イベントを実施



▲ペットフード用ジビエふりかけ

3 予算額 () は前年度予算額

968,397千円 (962,403千円)

《担当課：経営技術支援課、林業振興課》

防災減災対策の強化

1 事業目的

近年の気候変動による水害リスクを軽減するため、農業水利施設の機能強化を図るとともに、ため池が持つ貯留機能を活用した流域治水を推進する。

2 事業内容

(1) 農業水利施設を活用した治水機能強化

155,691千円

- ア 湛水被害軽減に向けた水路の改修や水門の電動化等に係る経費を助成
- イ 農業用ため池の整備や、事前放流に必要な開閉操作・点検に係る経費を助成
- ウ **新** 湛水被害軽減に向けた水門の遠隔化等に係る経費を助成



▲水門を遠隔操作

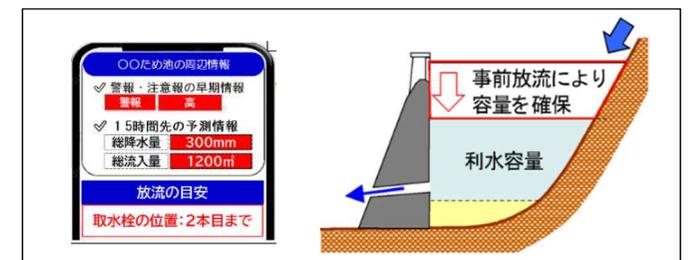
(2) **新** ため池の事前放流を推進

20,640千円

- ・降水量やため池への流入量を予測し、ため池からの放流量の目安を示すアプリを開発



▲農業用ため池



▲アプリ活用による事前放流 (イメージ)

3 事業実施主体 (1) 市町村 (2) 県

4 補助率

(1) ア 6/10、7/10 イ 3/4 ウ 3/4

5 事業実施期間

(1) ア、イ 令和4年度～ (1) ウ、(2) 令和7年度～

6 予算額 () は前年度予算額

176,331千円 (77,216千円)

《担当課：農村森林整備課》